

メーカー様向け

# 省力化・省人化補助金 (カタログ型)とは？ 最新情報・解説資料

※詳細未発表のため、一部変更になる可能性がございます。

# 注目の補助金！省力化・省人化補助金！

2024年4月開始予定の新しい補助金。人手不足に悩む中小企業のため、IoT、ロボット等の人手不足解消に効果がある即効性のある汎用製品をカタログから選択し、簡易に導入できるようにする新しい施策が始まります。

この補助金は、中小企業の人手不足を解消しつつ付加価値額と生産性向上を図り、賃上げにつなげることを目的としています。自動清掃ロボットや無人配送装置、配膳ロボット、警備ロボットなどの導入を検討している方は是非この機会に！



イメージ画像 ※下記はあくまで現時点でのイメージであり、実際にカタログ登録されるかは分かりません。(2024/01/18)

# 省力化・省人化補助金の概要①

## 中小企業省力化投資補助事業 (中小企業等事業再構築促進事業を再編)

令和5年度補正予算額 1,000億円

【予算】 経済産業省  
 中小企業庁 経営支援部 技術・経営革新課  
 中小企業庁 長官官房 総務課

**事業の内容**

**事業目的**  
 中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするために、人手不足に悩む中小企業等に対して、省力化投資を支援する。これにより、中小企業等の付加価値額や生産性向上を図り、賃上げにつなげることを目的とする。

**事業概要**  
 I o T、ロボット等の人手不足解消に効果がある汎用製品を「カタログ」に掲載し、中小企業等が選択して導入できるようにすることで、簡易で即効性がある省力化投資を促進する。

※なお、中小企業等事業再構築促進基金を用いて、これまで実施してきた、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための新市場進出、事業・業種転換、事業再編、国内回帰又はこれらの取組を通じた規模の拡大等、企業の思い切った事業再構築の支援については、必要な見直しを行う。

**カタログ掲載機器 (IoT、ロボット等) のイメージ**

・無人搬送ロボット



実行名: uen570200 / 出典: freepik

・換品・仕分けシステム



実行名: macrovector / 出典: freepik

・無人監視システム



実行名: macrovector / 出典: freepik

・キャッシュレス型自動券売機



実行名: ココ

**事業スキーム (対象者、対象行為、補助率等)**



※これまで実施してきた中小企業等事業再構築促進事業のスキーム

枠	申請類型	補助上限額	補助率
省力化投資補助枠 (カタログ型)		従業員数5名以下 200万円(300万円) 従業員数6~20名 500万円(750万円) 従業員数21名以上 1000万円(1500万円)	1/2
		※賃上げ要件を達成した場合、 ( ) 内の値に補助上限額を引き上げ	

**成果目標**

付加価値額の増加、従業員一人当たり付加価値額の増加等を目指す。

# 省力化・省人化補助金の概要②

経済産業省

簡易で即効性がある省力化支援に向けた中小企業等事業再構築促進事業の再編

令和5年度補正予算額 1,000億円(中小企業等事業再構築促進基金の活用等を含め総額5,000億円)

## ① 施策の目的

中小企業等の売上拡大や生産性向上を後押しするために、人手不足に悩む中小企業等に対して、省力化投資を支援する。これにより、中小企業等の付加価値額や生産性向上を図り、賃上げにつなげることを目的とする。

## ② 施策の概要

IoT、ロボット等の人手不足解消に効果がある汎用製品を「カタログ」に掲載し、中小企業等が選択して導入できるようにすることで、簡易で即効性がある省力化投資を促進する。

## ③ 施策の具体的内容

枠	補助上限額	補助率
省力化投資枠 (カタログ型)	従業員数5名以下 200万円(300万円) 従業員数6~20名 500万円(750万円) 従業員数21名以上 1000万円(1500万円) ※賃上げ要件を達成した場合、( )内の値に補助上限額を引き上げ	1/2

カタログを通じた汎用製品 (IoT、ロボット等) の導入支援イメージ (バンダーによる機器等の導入における設定等のサポートを想定)

・無人搬送ロボット



著作権: user6702303 / 出典: freepik  
[https://jp.freepik.com/free-photo/automated-guided-vehicle-loading-boxes\\_18321421.html#query=agv&position=14&from\\_view=search&track=ais](https://jp.freepik.com/free-photo/automated-guided-vehicle-loading-boxes_18321421.html#query=agv&position=14&from_view=search&track=ais)

・検品・仕分けシステム



著作権: macrovector / 出典: Freepik  
[https://jp.freepik.com/free-vector/smart-industry-icon\\_23182671.html#query=5265NA43C2E52653E1N85A3585E2768D5A&position=11&from\\_view=search&track=ais](https://jp.freepik.com/free-vector/smart-industry-icon_23182671.html#query=5265NA43C2E52653E1N85A3585E2768D5A&position=11&from_view=search&track=ais)

直接的に人員が不要になるIoT、ロボットなどが対象。事前にメーカーが製品をカタログ登録するイメージ。

# 省力化・省人化補助金の概要③

3つの手法

新たな予算  
・税制措置

予算

中小企業等の人手不足対応・生産性向上への支援

経済産業省

- 人手不足に悩む中小企業のため、省力化に即効性のある汎用製品を、カタログから選択し、簡易に導入できるようにする。
- 中堅・中小企業の工場等の新設や大規模な設備投資を支援し、地方における賃上げにつなげる。

## 省力化投資の支援

イメージ図

<宿泊・飲食サービス>



自動清掃機ロボット



自動配膳ロボット

<労働時間の削減>

## 大規模成長投資の支援

イメージ図 <製造業>



生産工程の抜本的改革

<CO2削減や生産性向上>

<卸売業>



最新設備を導入した  
物流センター

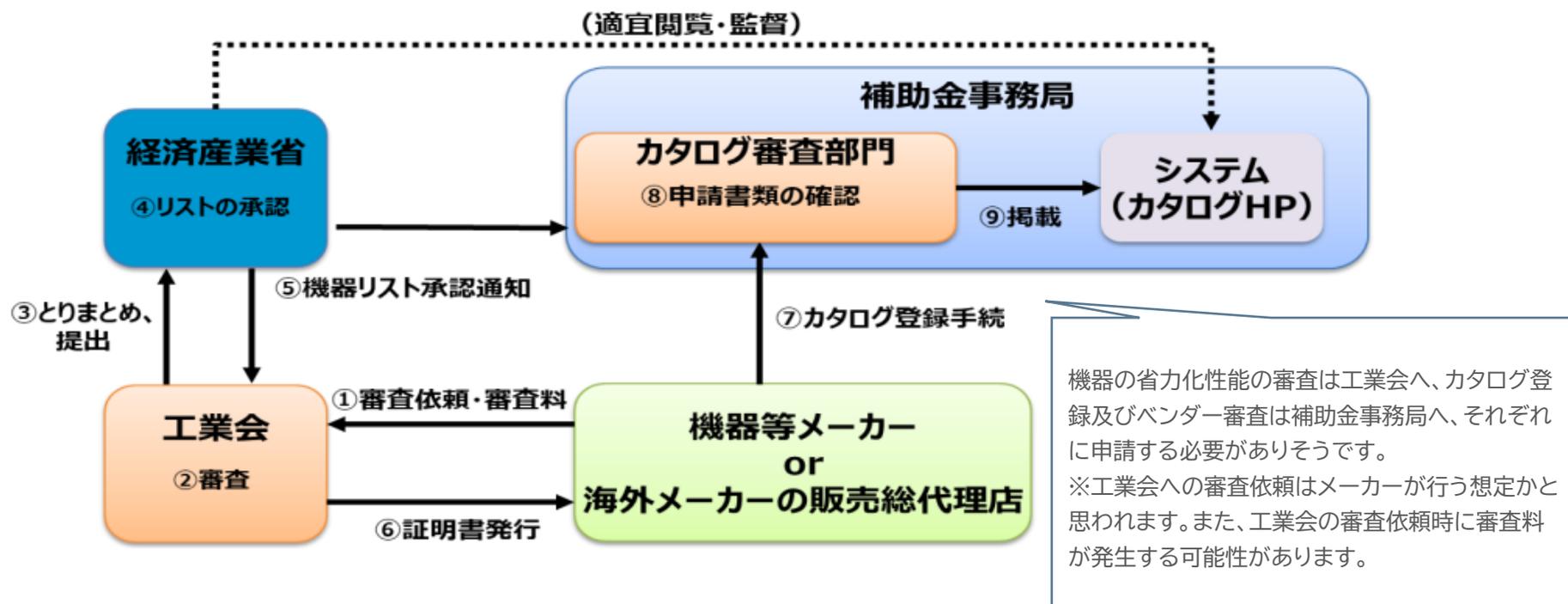
<生産性3倍>

関連する法令・予算

- ・中小企業等事業再構築促進事業（予算/経済産業省）
- ・中堅・中小企業の持続的賃上げに向けた省人化等の大規模成長投資の促進（予算/経済産業省）

# カタログ登録に関して

- 事務局による公募開始後、メーカーが企業自身の審査を事務局に依頼。個別機器の審査を工業会へ依頼。
- 工業会が審査結果をとりまとめ、経済産業省に提出。中小企業庁・経済産業省の認証と事務局への応募手続きを経て、カタログに登録するベンダー・機器を決定。
- 事務局が公開するカタログを中小事業者が参照し、導入する機器を決定。



機器の省力化性能の審査は工業会へ、カタログ登録及びベンダー審査は補助金事務局へ、それぞれに申請する必要があります。

※工業会への審査依頼はメーカーが行う想定かと思われます。また、工業会の審査依頼時に審査料が発生する可能性があります。

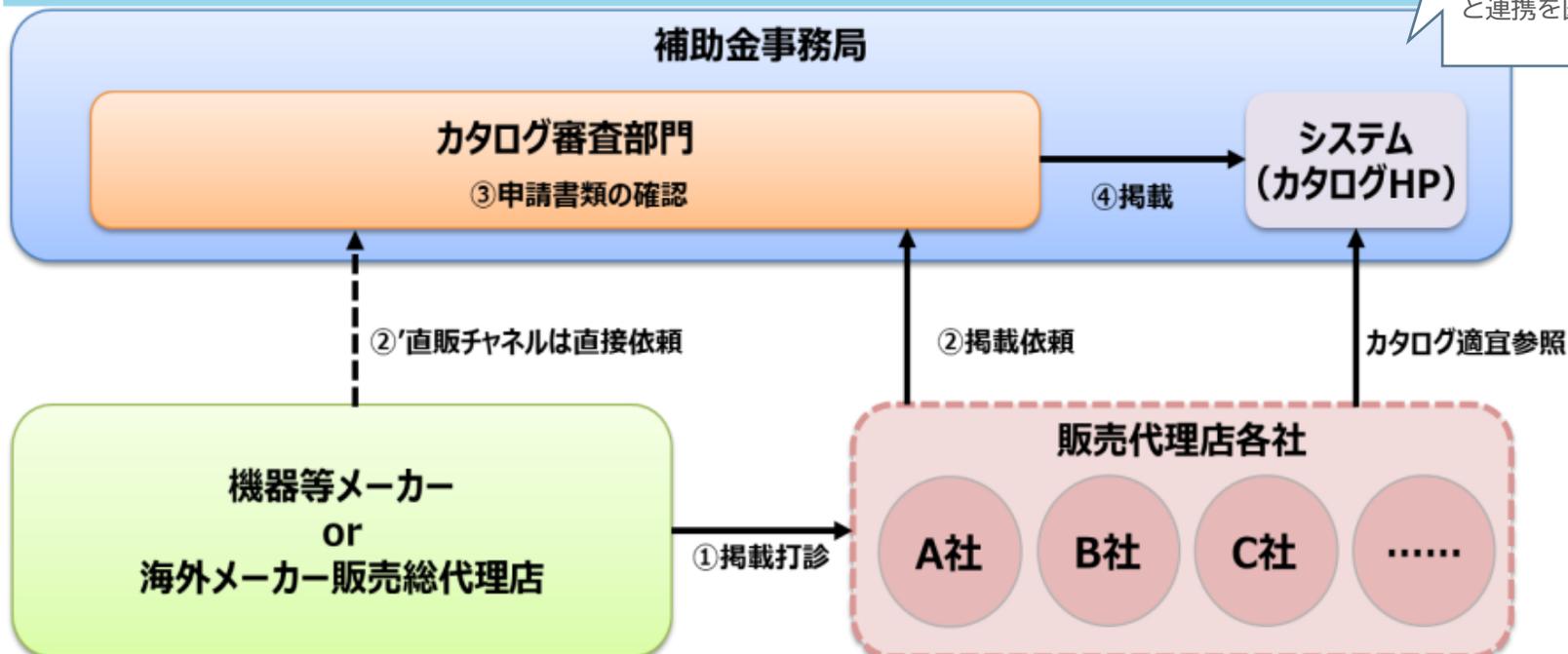
# 販売代理店登録に関して

## スキーム補足：販売代理店の登録

検討中

- カタログに掲載されている省力化機器の販売代理店登録を行う。
- 代理店の登録には、以下2パターンのケースが想定される。
  - ✓ 代理店が取り扱う機器を事務局に掲載依頼。
  - ✓ ベンダーからの要請に基づき、販売代理店が機器を事務局に掲載依頼。
- 事務局は販売代理店からの申請書類確認後、カタログへ販売代理店を掲載。

販売代理店も補助金事務局に販売代理店登録が必要になるようです。工業会への審査が必要なことから、販売代理店が本補助金に取り組む場合は適宜メーカー・海外メーカー販売総代理店と連携を図る必要があります。

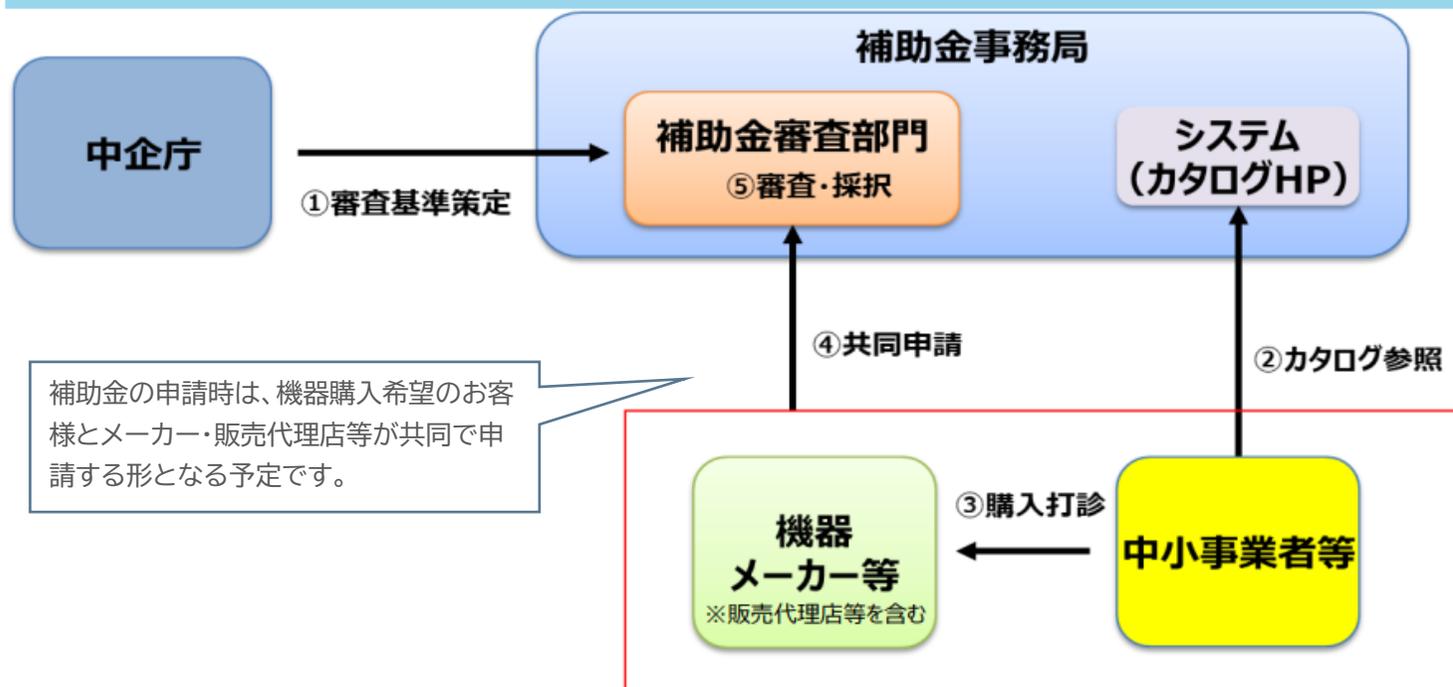


# 申請スキームに関して

## スキーム補足：補助金申請

検討中

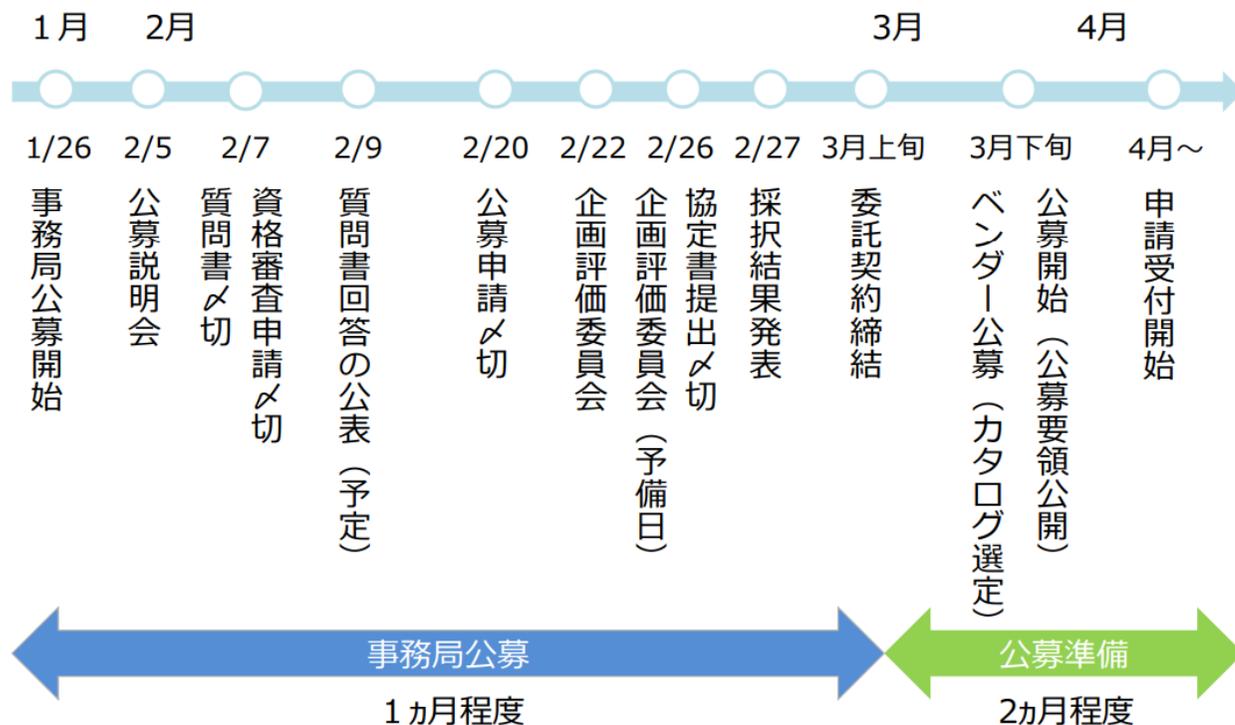
- 中小企業等がカタログを参照し、導入する機器を決定
- メーカーへの打診を行い、補助金を共同申請
- 中企庁策定の審査基準に基づき事務局が審査を行い、採択される



# 今後のスケジュールに関して

## 今後の公募スケジュール

検討中



2月中旬に事務局の公募が行われて、事務局の運営を行う企業が決定となる。その後は3月下旬にベンダー公募開始(カタログ選定)と公募要領の公開予定。  
4月より機器購入希望のお客様の補助金申請受付開始予定となる。

# 公募のスケジュールに関して

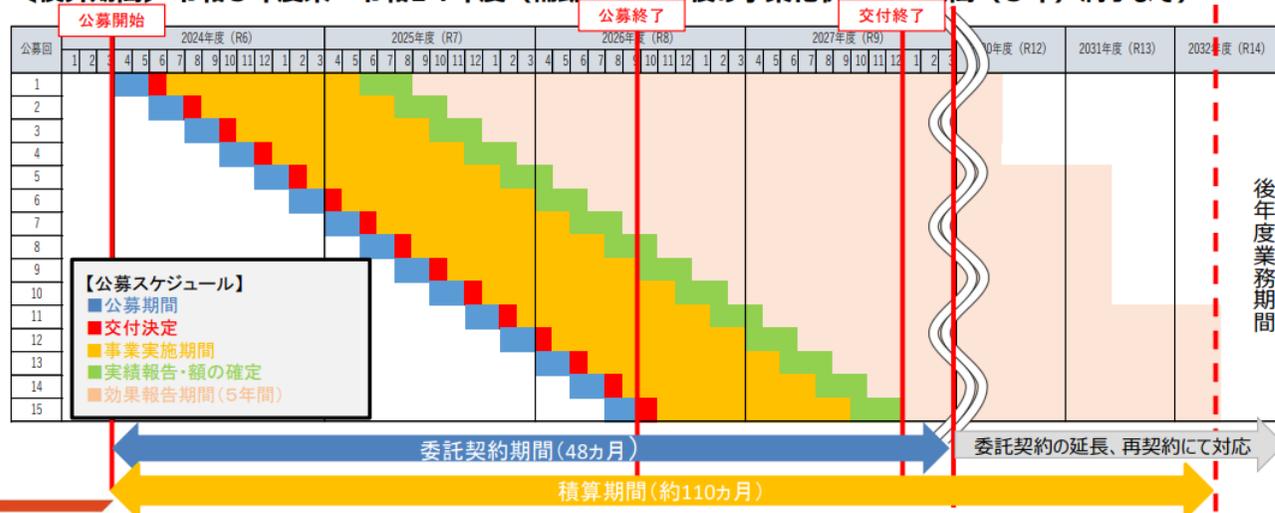
## その他参考情報：公募スケジュール（イメージ）

検討中

公募期間、委託契約期間は次のとおり。

- R6年3月～R8年度まで、15回程度の公募を実施し、述べ120,000者を採択
- R9年12月頃までに補助金交付を完了し、R9年度末に委託契約を終了
- 委託契約期間終了後は、契約延長等に対応（R14.3の事業化状況報告まで）

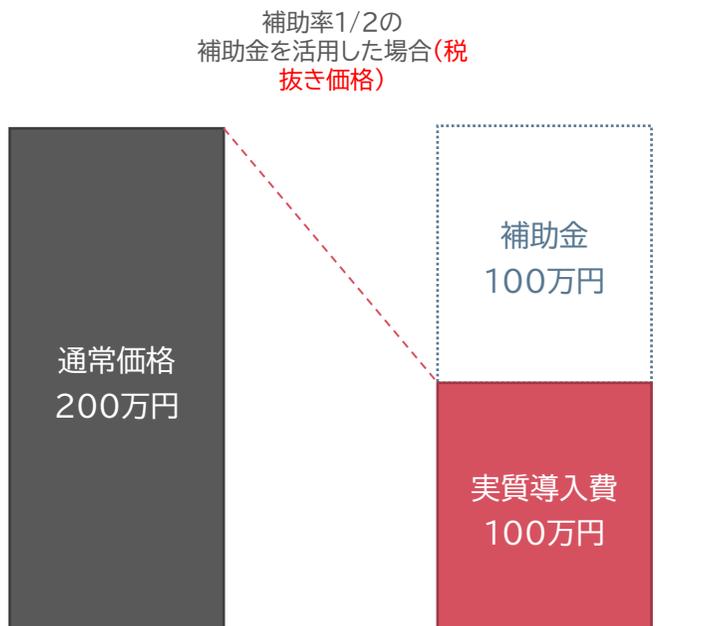
【積算期間】令和5年度末～令和14年度（補助事業終了後の事業化状況報告期間（5年）満了まで）



Be a Great Small. 中小機構 © 2024 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN

- ・令和8年9月末までに公募回数は15回程度(公募頻度は2か月に1回)、採択予定件数は計120,000件程度を予定。
- ・上記の情報から1回あたりの公募で8,000社ほど採択される想定となります。

# 補助金活用のメリット



※上記の内容は一例となります。

補助金の種類によって補助率、補助額が異なります。

## 【メーカー側のメリット】

- ・無理な値下げをすることなく製品を購入してもらえる
- ・製品購買情報をヒアリングできる
- ・再度他の補助金を活用して製品を購入してもらえるチャンスが来る
- ・金銭的失注を抑えられる



# 補助金活用の流れ

補助金を利用する場合、通常の商談とは異なり2つのフェーズが追加されます。

## 【公募・交付申請】～申し込み～

補助金を何に利用し、事業をどのように展開していくのかが記載した事業計画書を補助金事務局に提出します。事務局による審査が行われて、無事に合格点に達すると**採択・交付決定**となります。

その後、契約・発注・納品・支払と進んでいきます。

申請～採択・交付決定までの期間は補助金によって異なり、早いものは約1か月、遅いものでは約3か月ほどです。

## 【支給申請】～採択後の受給へ向けて～

交付決定後に「契約～支払」までの事業実施が終わった後、補助金の受給手続きを行うことを「**支給申請**」といいます。基本的に補助金は後払いで振り込まれるため、一度お客様には導入料金全額をご負担いただく必要があります。支給申請～補助金受給の期間も早くて約1か月、遅くて半年など補助金によって様々です。



## 《プランナーズバリューの支援可能範囲》

### 【メーカーサポート】

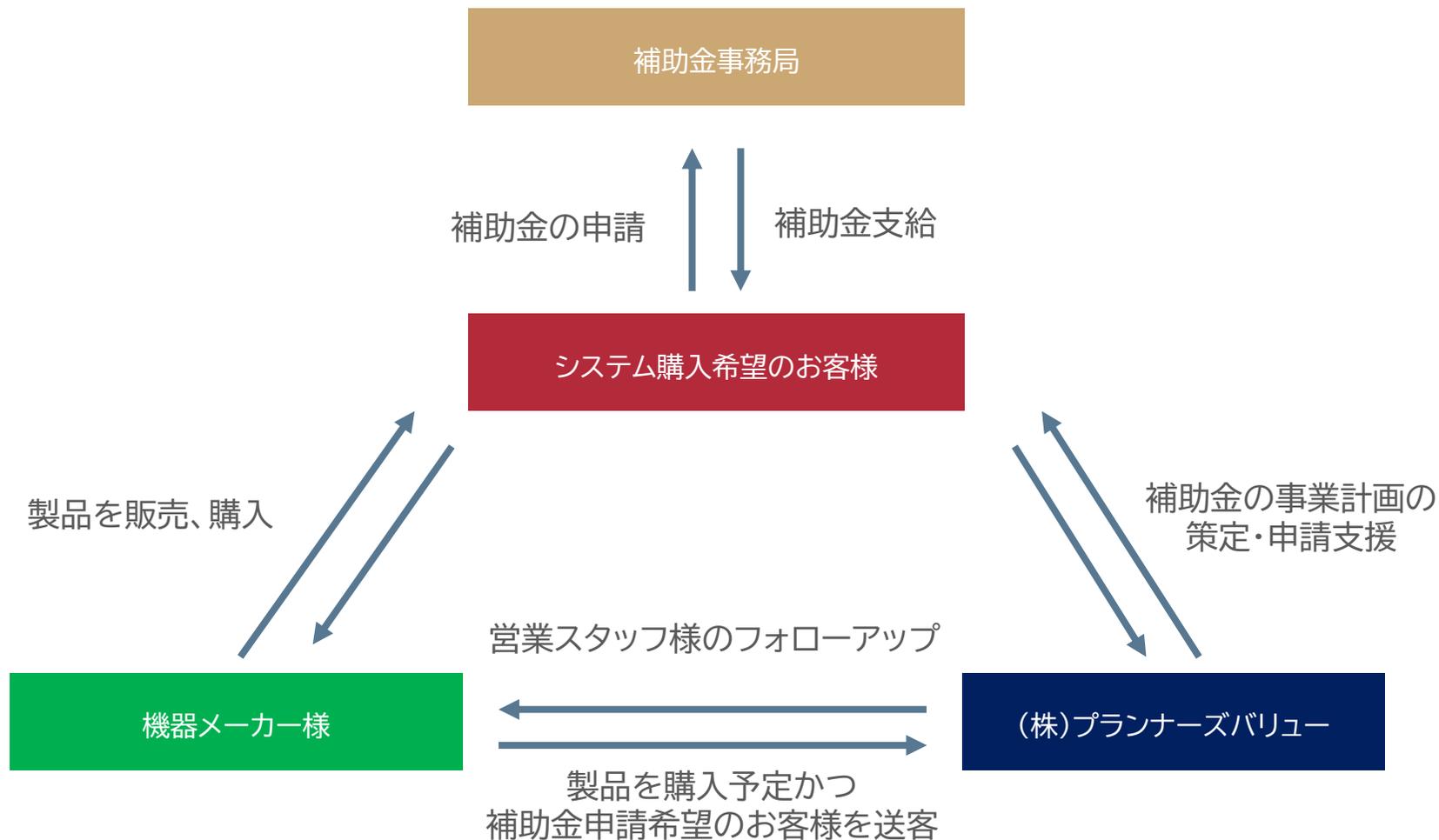
- ・営業向けコンサルティング
- ・カタログ登録支援

### 【お客様サポート】

- ・交付申請サポート
- ・実績報告サポート
- ・受給後の後年報告サポート



# 事業スキーム(仮)



※詳細未発表のため、変更になる可能性があります。